



「雨の日」

-Rainy day-

ADULT ONLY

雨の日は好きだった



寝てほしいんですけど...
けど...

いっ
一緒

雨、だから



あっ

あの、

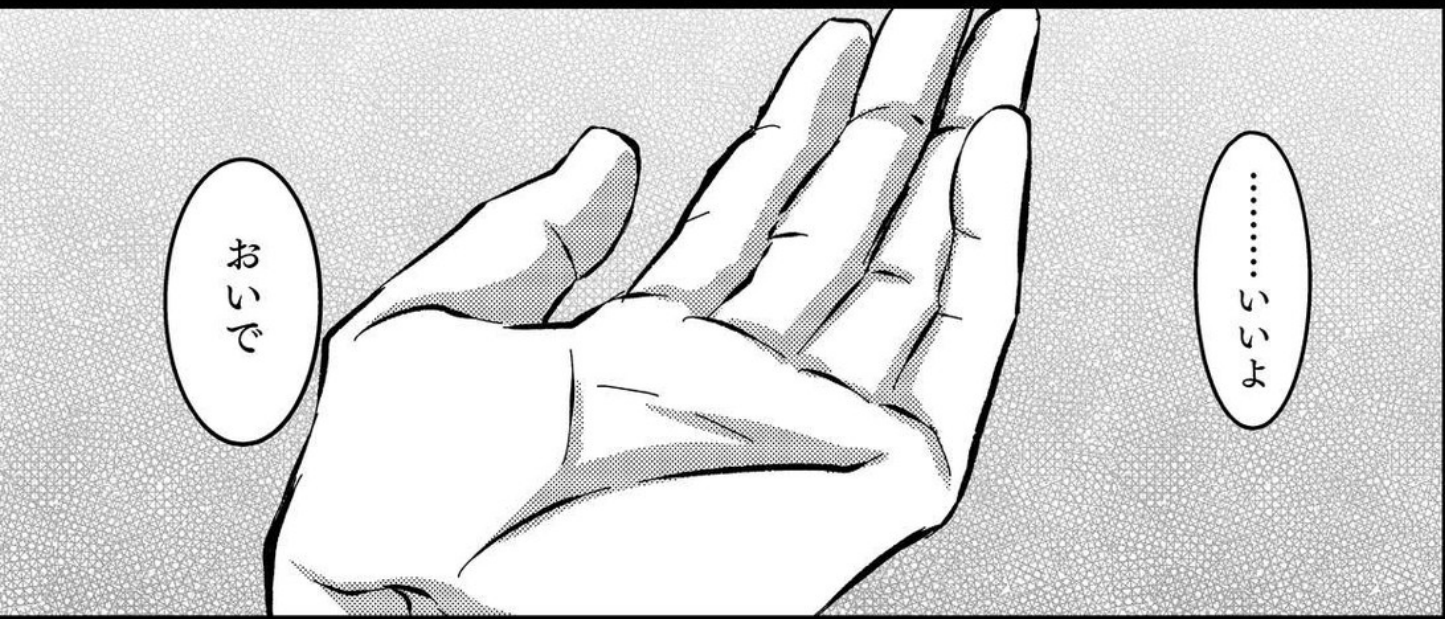


だ、
だめ、ですか...?

き、今日
寒いし...

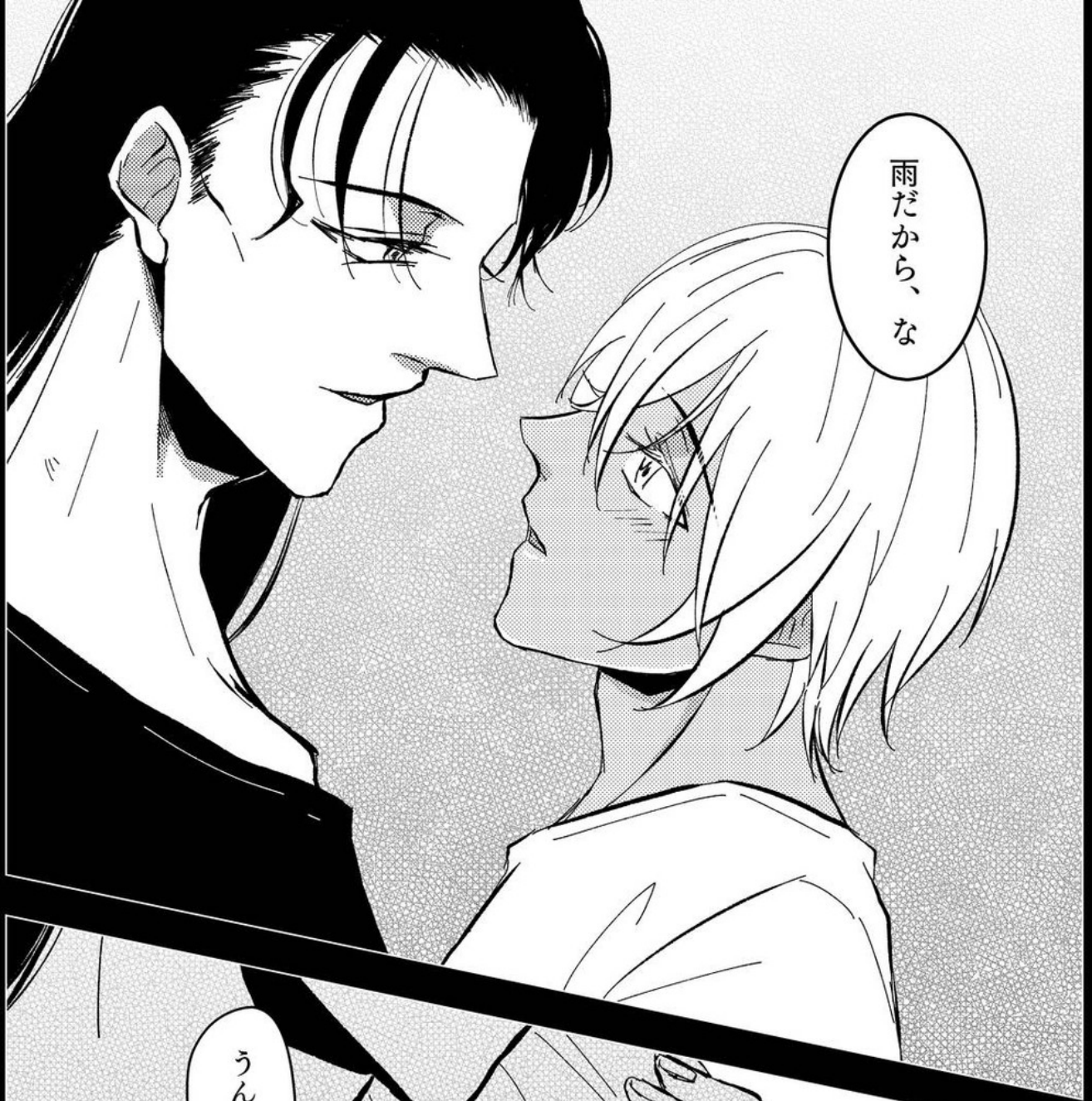


.....



おいで

.....
SSA



雨だから、な



うん……

雨の日は
好きだった

貴方を独り占め
出来るから――



赤井秀一が
死んだ

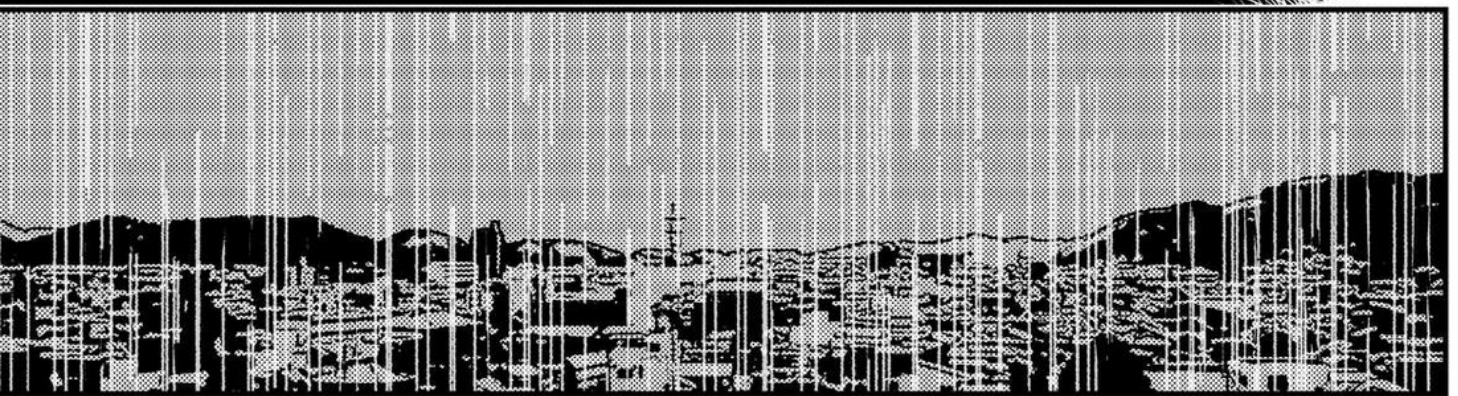


奴を殺す事が
僕の一つの目標であり

きつと
生きる希望でもあった



あの男が僕以外に
殺されるわけがない



僕が誰よりも
赤井秀一を
信じている

願望とか強がりとか
そんな粗末な感情から
出た言葉じゃない

憎くて、殺したくて、
それでもお前を誰よりも

だから許せなかった

僕の前から消えた赤井が

……あかい……

こんな事で
折れてしまいそうな
自分自身が



僕の中の
どうしようもない
この感情だって

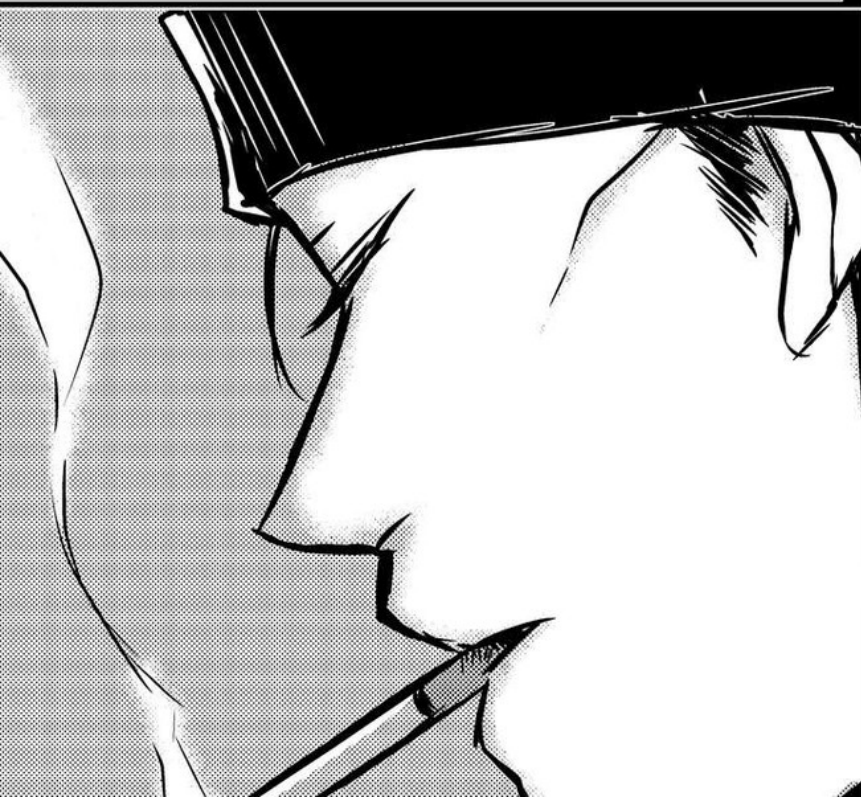
負の感情だけで
成り立ったもの
じゃない

気付かないようにしていた

気付かないふりをしていた

ずっと 必要なものと
思ってたのよ——

バーボン





なあ、
バーボン



バーボン



寒いだろ？

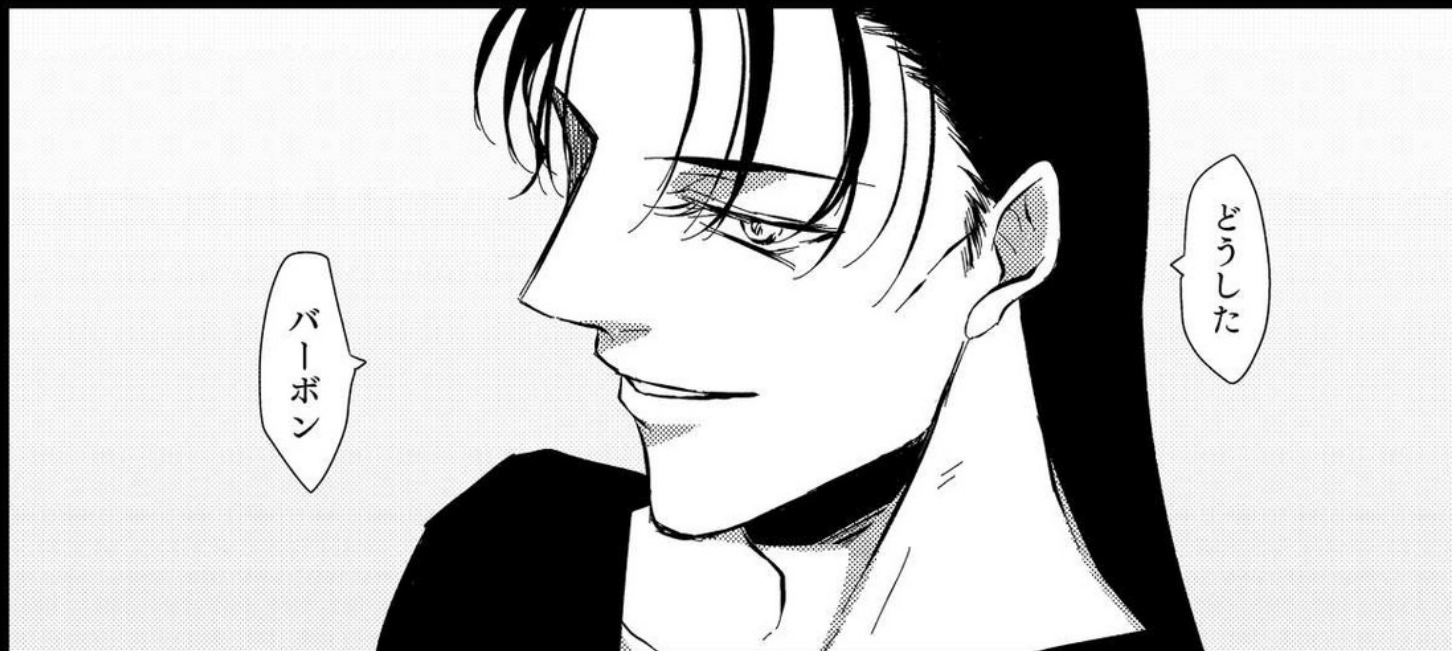
ほら

おいしい
ミルク



おい...

しっかりしろ！



どうした

バーボン

思い出すのは
優しい顔ばかりだ

そんなの――

ずるいじゃないか…

憎いだけの相手で
いてほしかったのに

僕はどうしようもなく
貴方に焦がれてしまう

……あの、



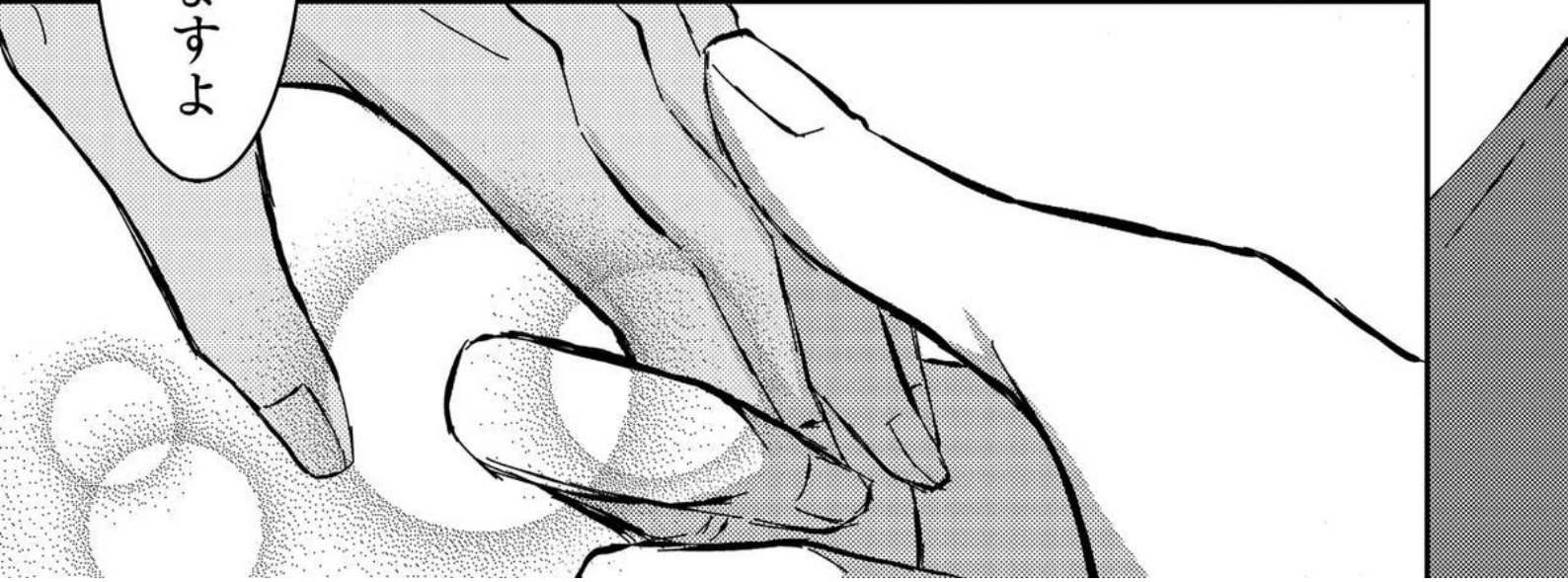


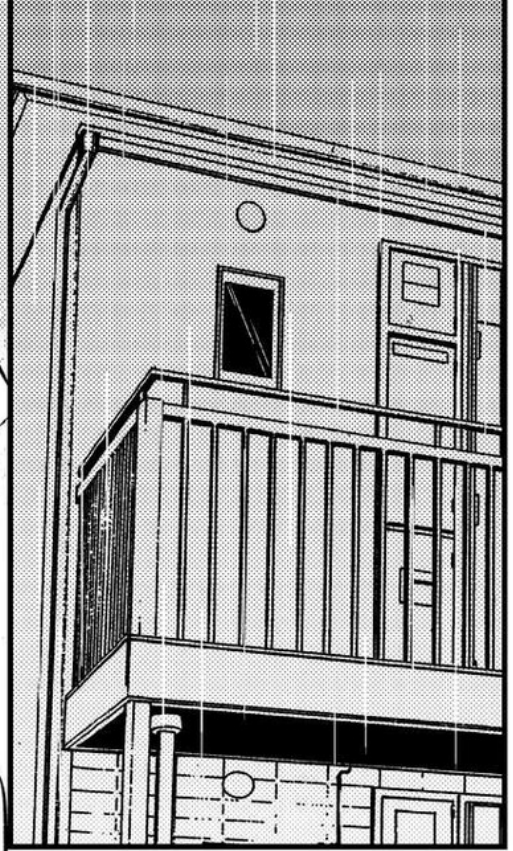
.....

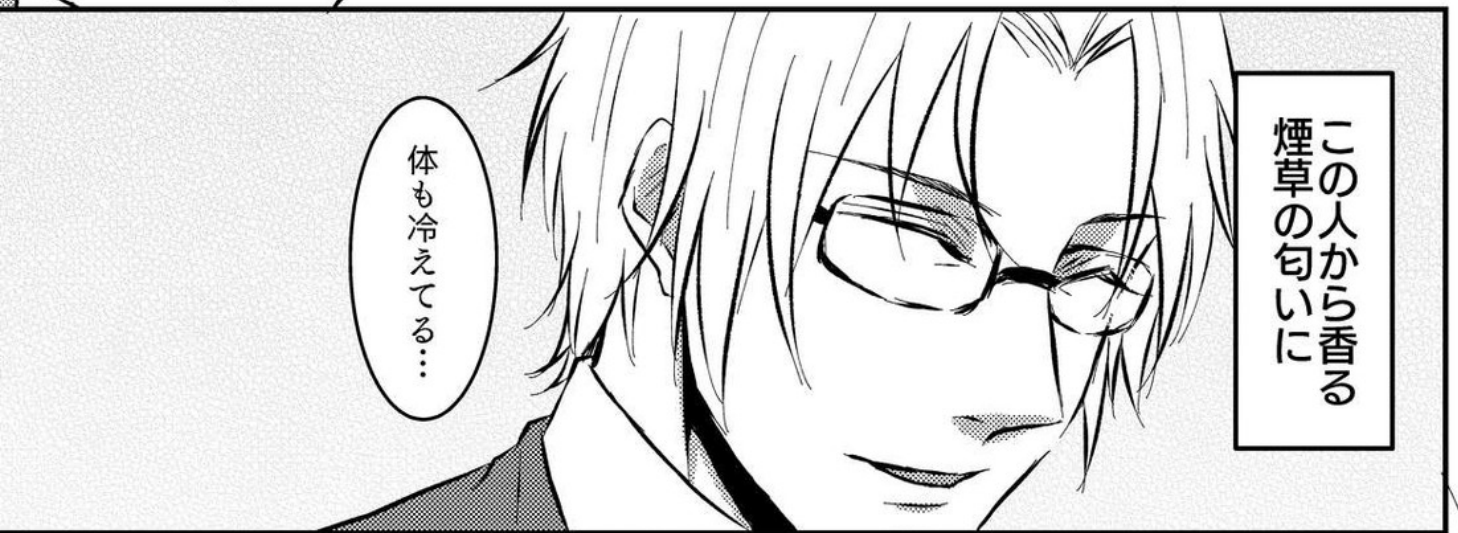
大丈夫ですか？



風邪、
引きますよ

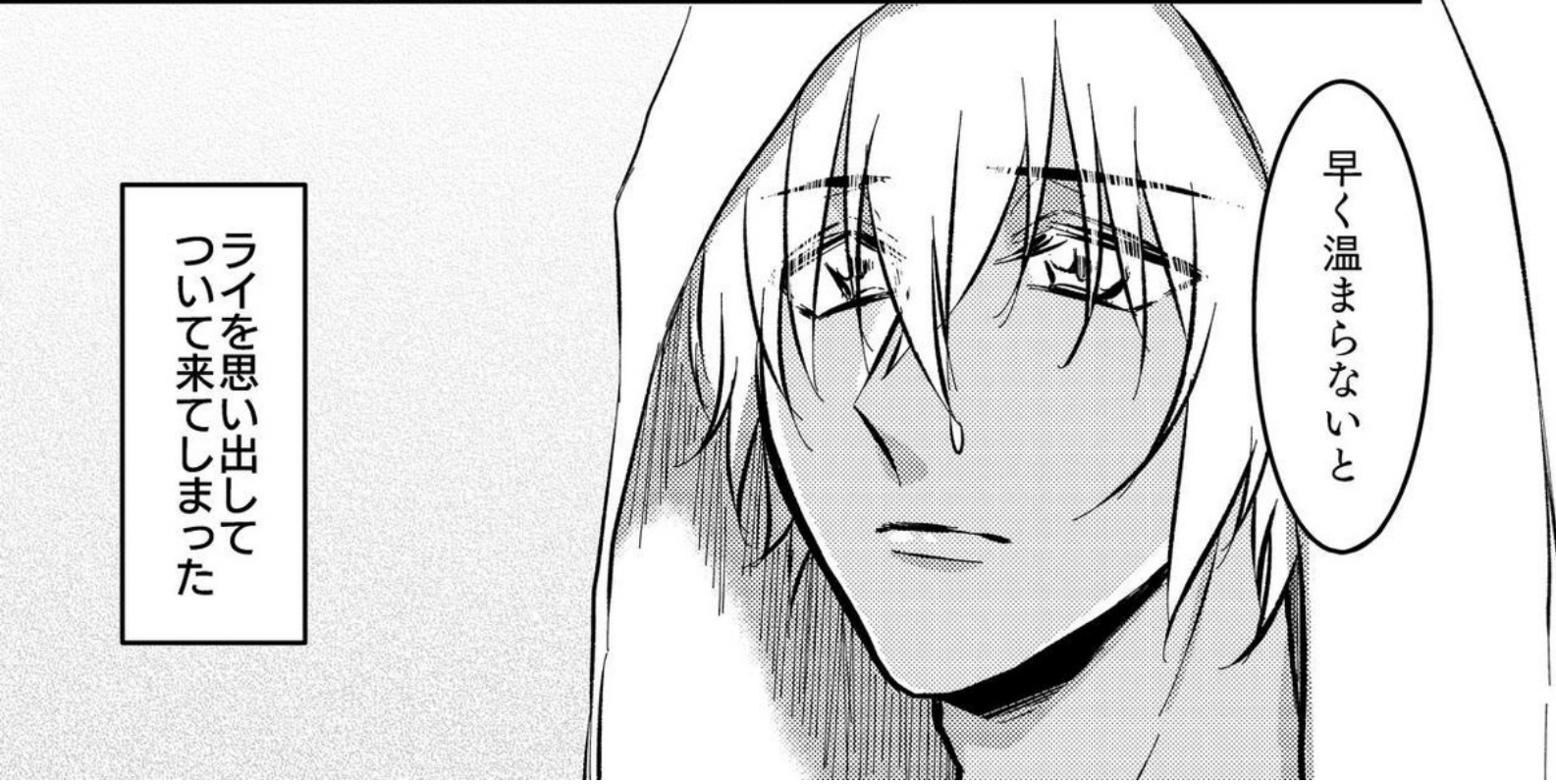






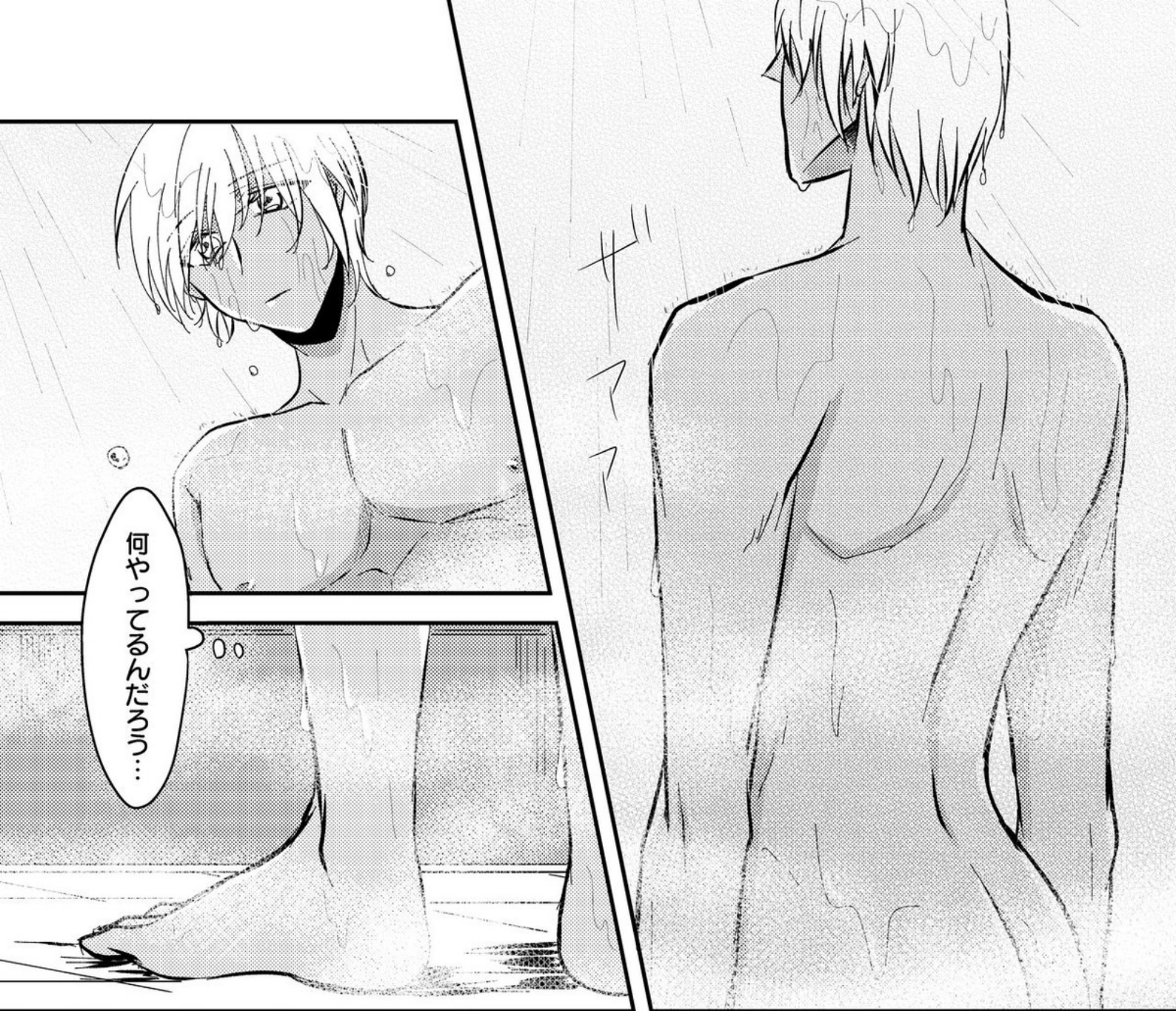
体も冷えてる…

この人から香る
煙草の匂いに



早く温まらないと

ライを思い出して
ついて来てしまった




何やこころなんだよ...

見知らぬ人間のことなど
放っておけばいいのに

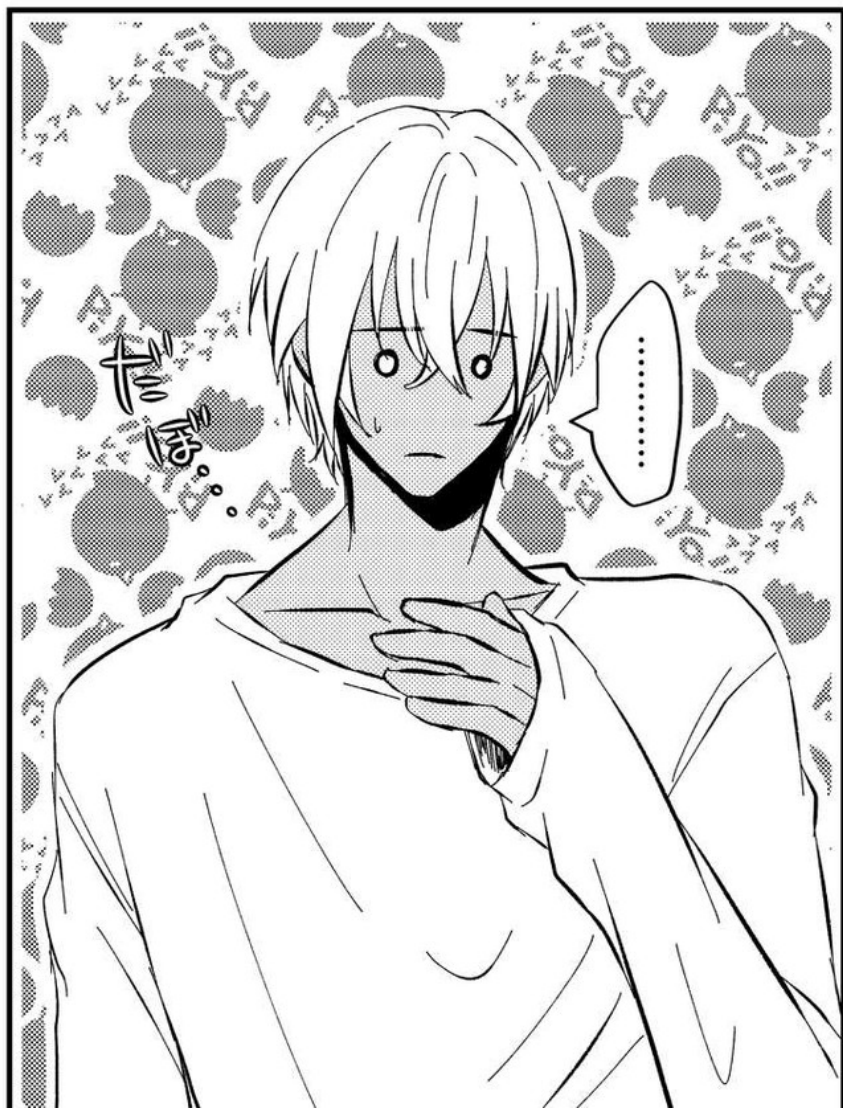
こんな、
野良猫でも拾うかの
ような気軽さで——





彼は何故僕を
連れ帰ったのだろう

のこのこついて来た僕が
言えた義理じゃないか……



僕も小さい方じゃ
ないのにな……



丁度良かった
紅茶淹れますね

ああ、

あの……



?

ふふっ

いえ……



服、少し
大きかったですね

……



.....

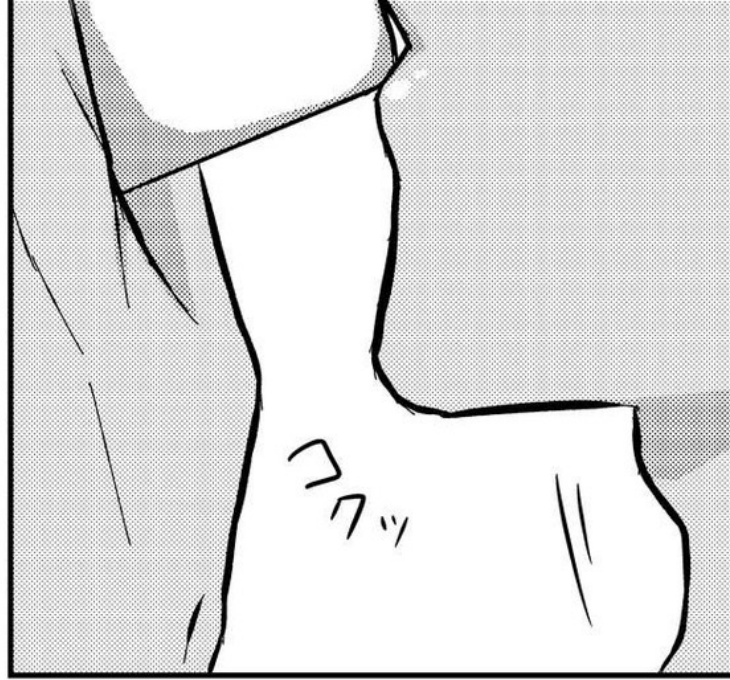


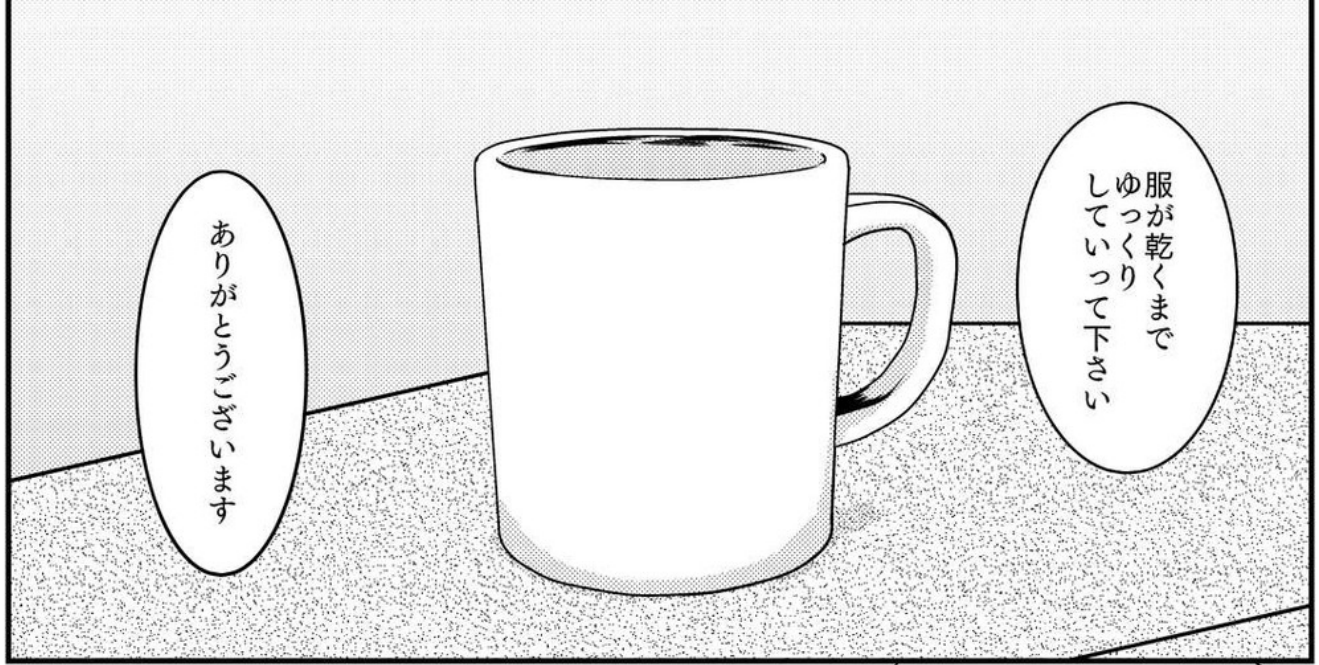
冗談です

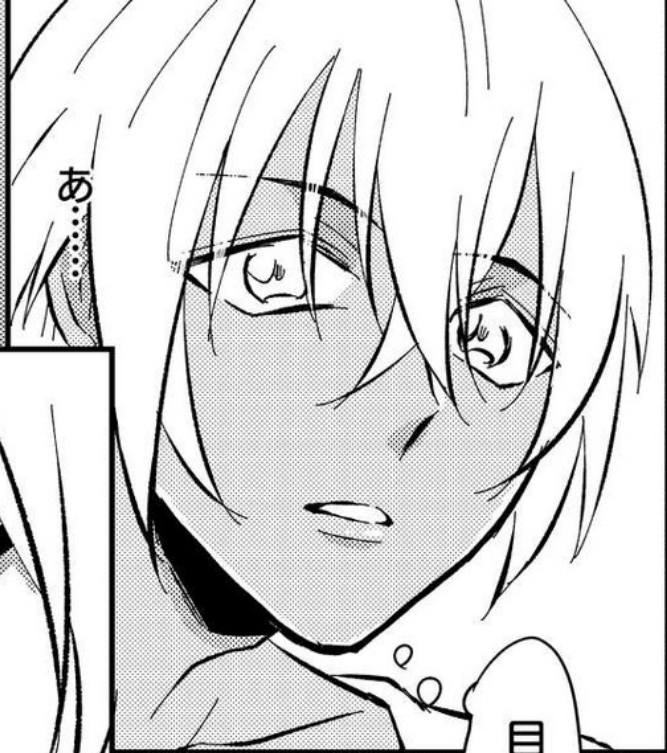
そ、そういうつもりで
見てたわけじゃ……っ



変な物が入っていませんよ？







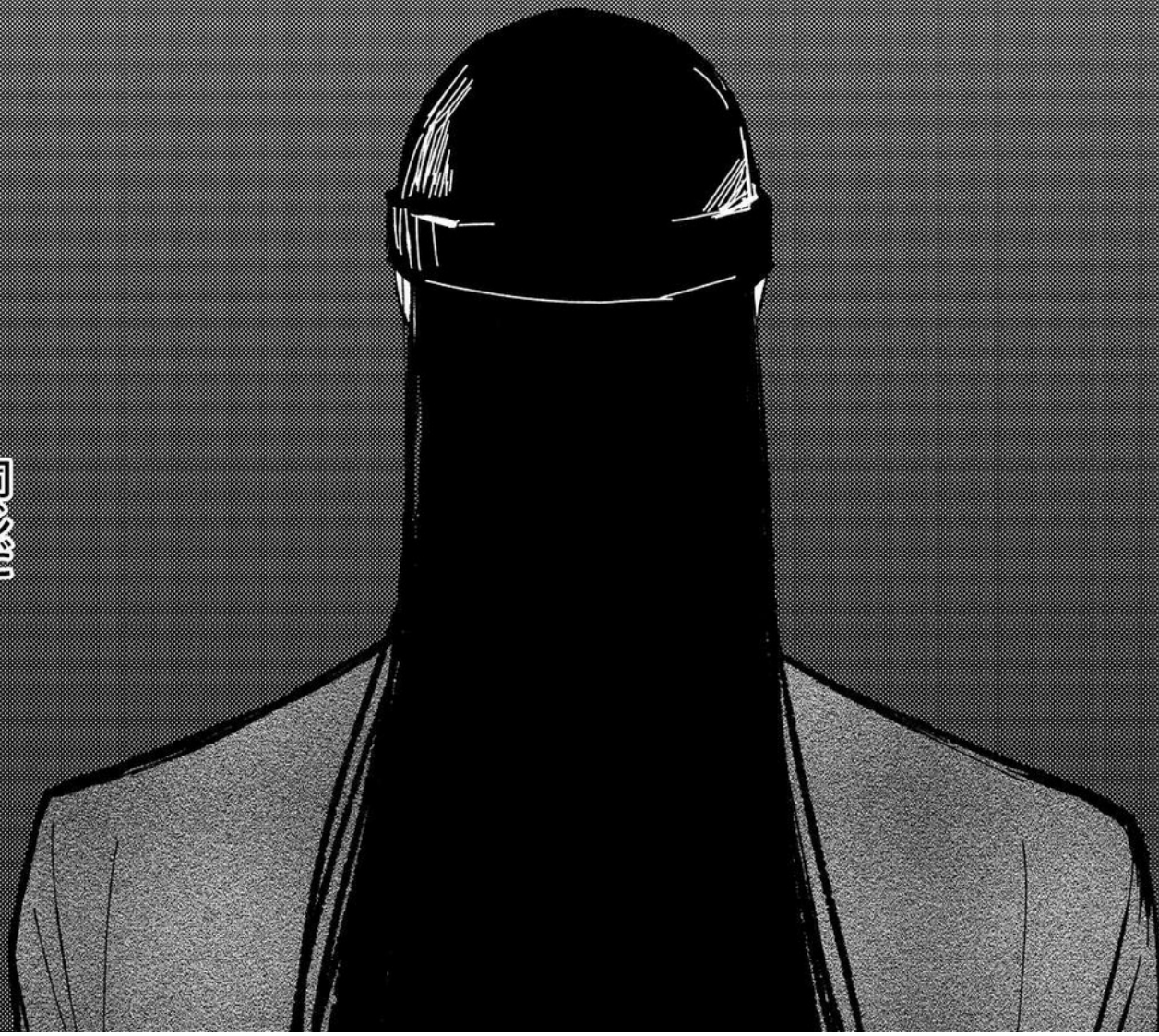
あ……

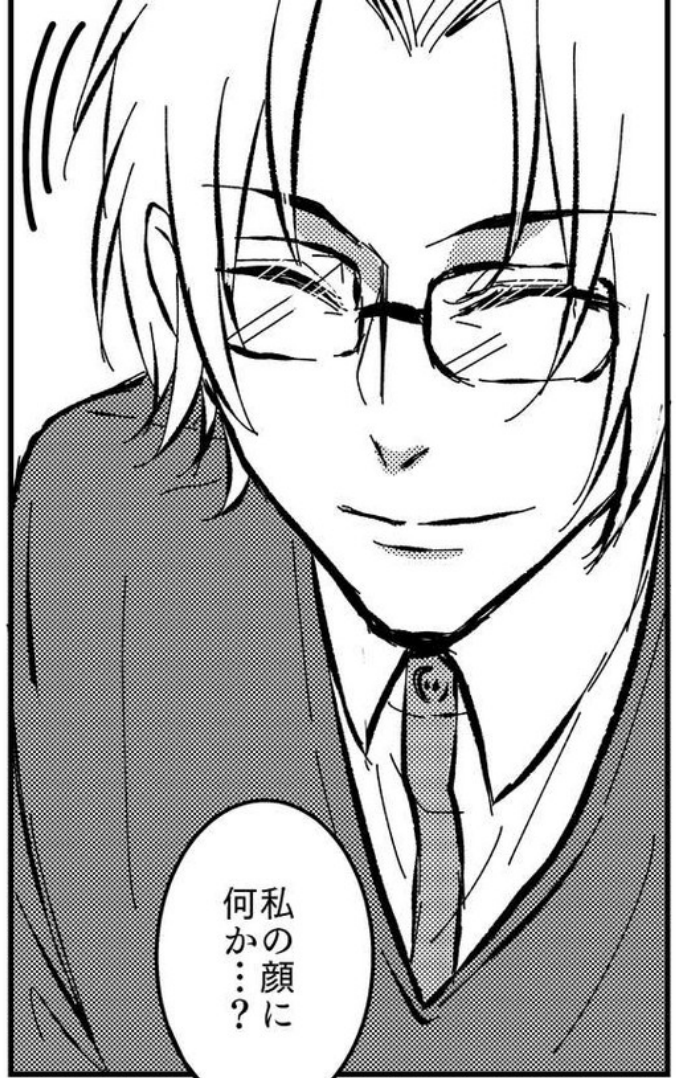
目の色が……



ん？

同じだ





私の顔に
何か…？



あ、いえ……

同じところを見付けて
それが何になるのだろう

この不安も
この気持ちも全部

雨、止みませんね…

雨に流れて消えて
しまえばいいのに

雨だから――

そんな理由で
夜を共にするようになっ
たのも
雨の日が始まりだった





その日は失敗して
強い薬を盛られた

雨の中僕を見つけて
助けてくれたのは
ライだった——



大丈夫だ

ちゃんと治るまで
面倒見てやる









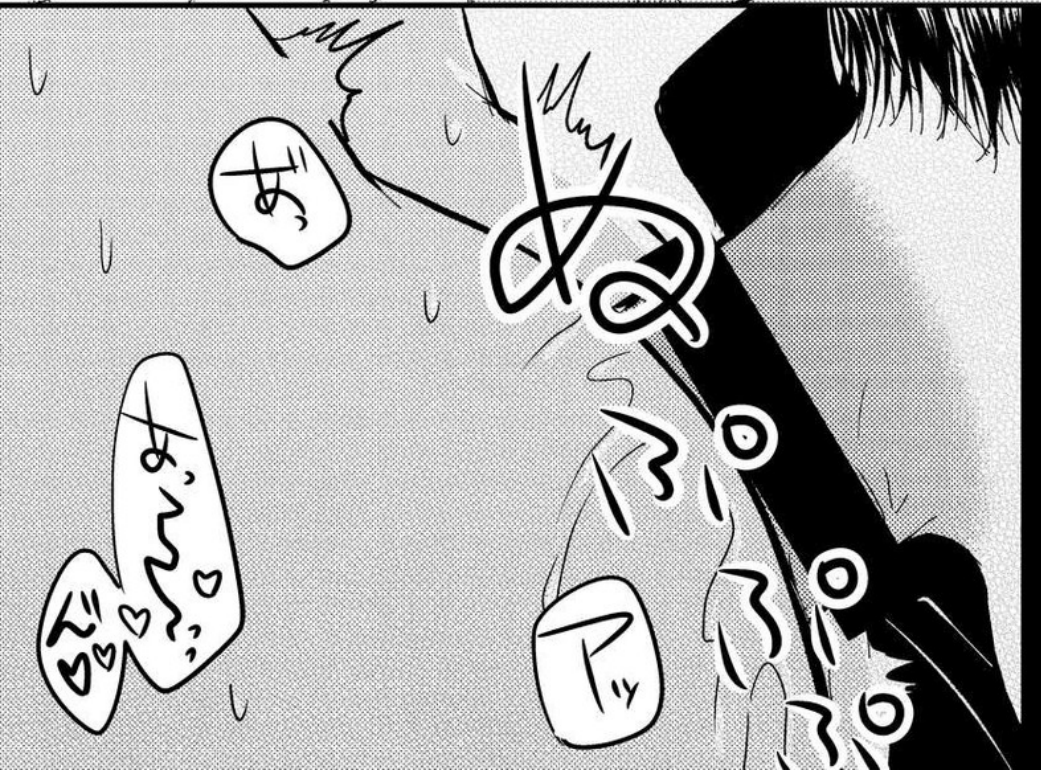
すの...
い、入れ、
ますか...？

いいの...か...？



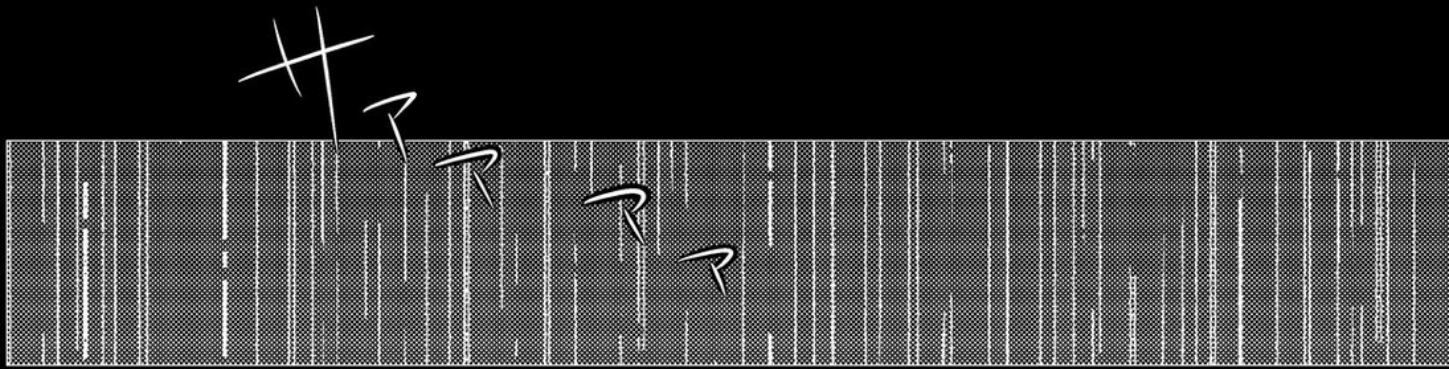
.....ライなら、

ささか...
3132



可愛いな、
バーボン







目が覚めたか

まだ夜明け前だ
寝てていい

ん…

ねえ、ライ

…

うん？



雨が止むまで
そばにいて
くれますか…？

…ああ、

もちろん

雨だからな…



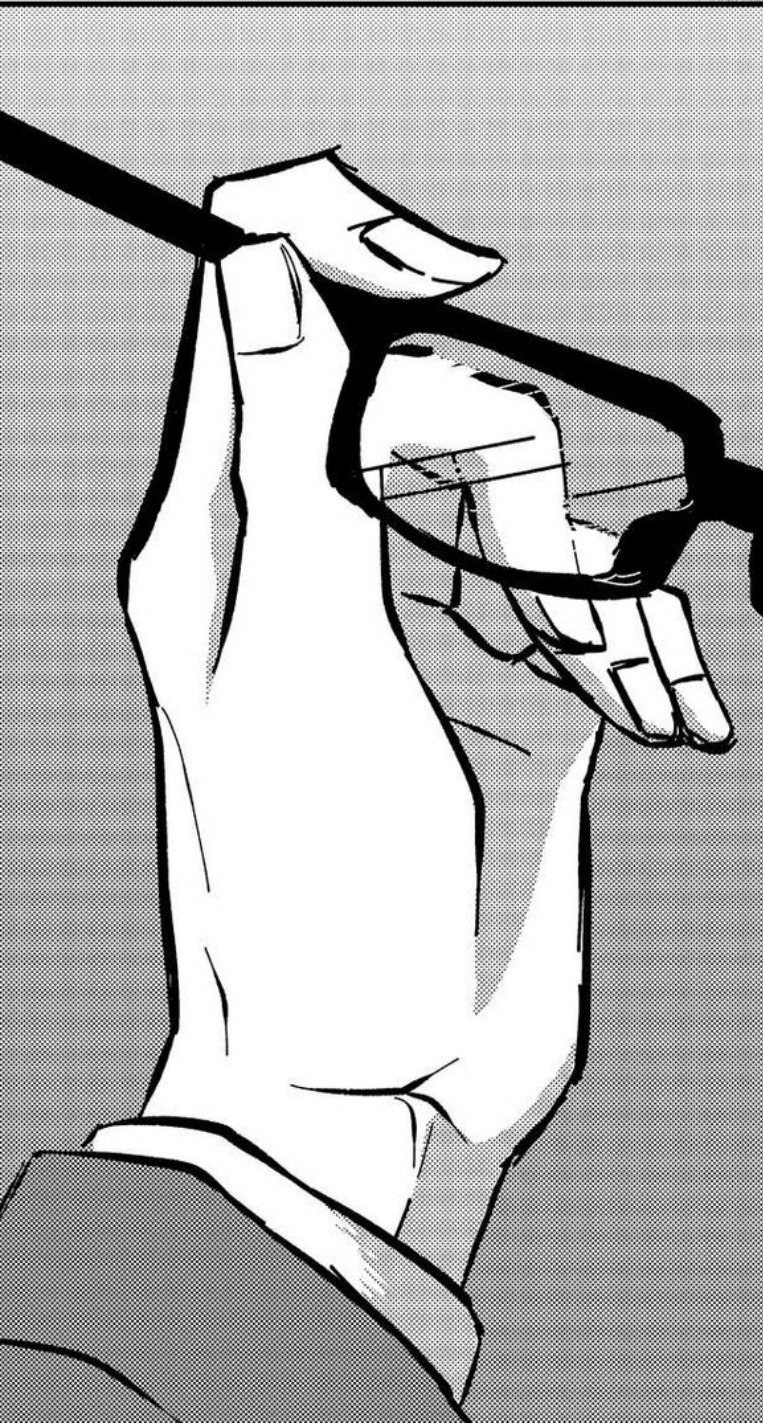
こんな雨の日に傘もささずに
外を歩くなんて――

体調を崩したのはそれだけが
原因じゃないか……



ライ……

……
ライ



……



可愛くて

可愛くて

可哀想な

バーボン

君を悲しませる
男のことなど

忘れてしまったら
いいのに

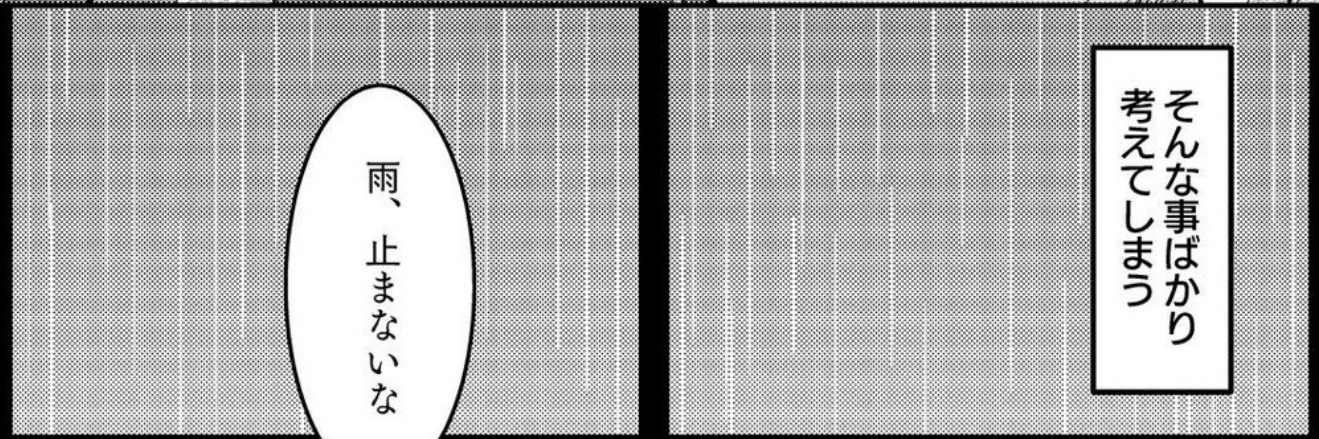


忘れられない
ようにしたのは
俺か……



雨だから
あんな理由などなくても

君を抱き締められる
目が来たら

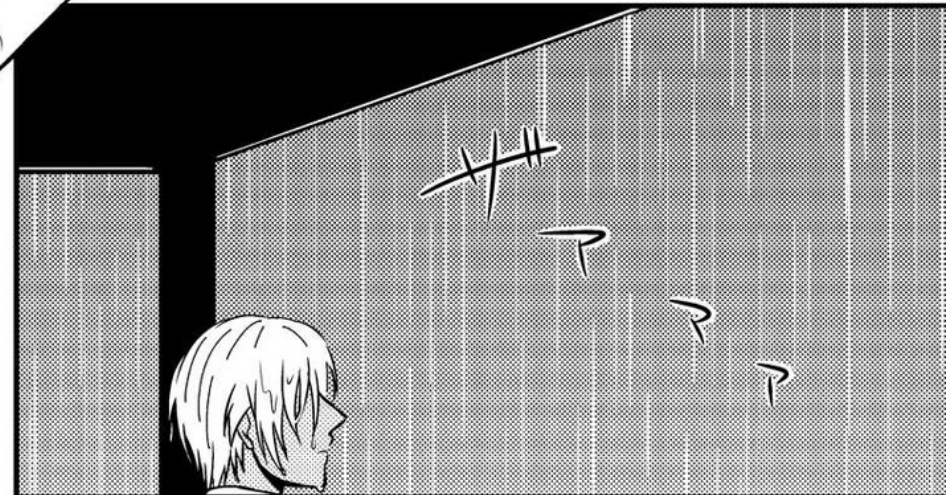


雨、止まないな

そんな事ばかり
考えてしまう



雨 久々だな...



組織が瓦解して
数か月が経って

赤井とも和解して
何だかんだ
上手くやっている

うん



降谷君

アッ

?

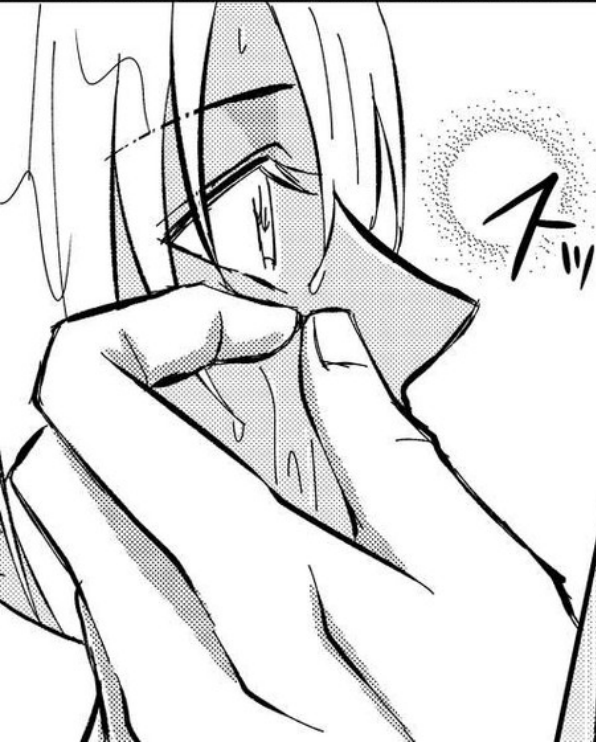


赤井…!?

やあ

な、何してるんですか…?

君を見つけたから追いかけてきた

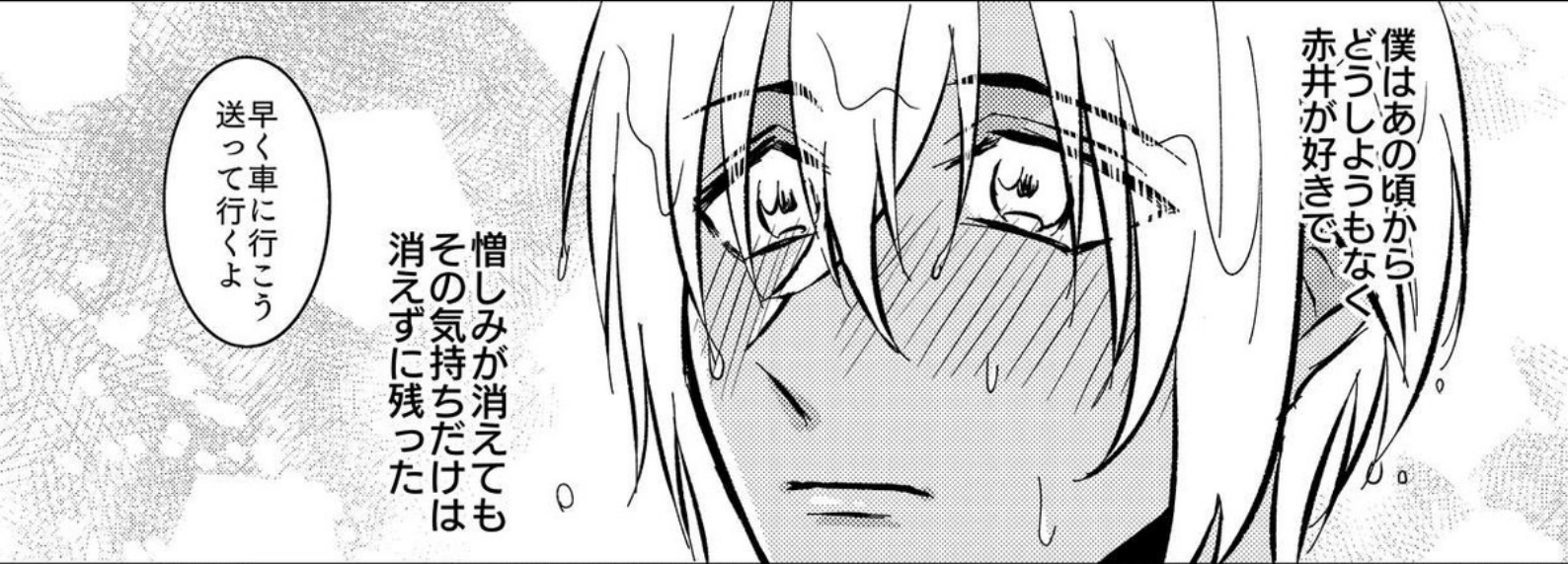


アッ



こんな濡れて...
また熱出すぞ?

じゅわ



早く車に行こう
送って行くよ

憎しみが消えても
その気持ちだけは
消えずに残った

僕はあの頃から
どうしようもなく
赤井が好きで



もし良かったら
今日うちで食事でも
どうですか?

友人として
隣にいたいだけは
許してほしい

赤井

そんな資格はないかも
しれないけど

ん?



雨だから……っ





俺達は雨の日じゃないと
一緒にいけないのか？

……
なあ、



君はもう
バーボンじゃないし



俺もライじゃない



え……？



あの頃とは違う



俺はどんな天気の日でも
君と一緒にいたいよ



雨だからなんて
理由はいらないし



君はどうなんだ？



赤井がそんな風に思っていてくれたなんて...

...あの、

何か...

うれしい

...今の、告白
みたいですね

あはは...

なんて...:
そんなわけ



そうだよ

君が好きだ



返事は？





「雨の日」

名探偵コナン ファンブック8

赤井×安室

2019/10/14

追撃ピストン/京宮 良

Twitter : @rinrin3229

pixivID : 2929769

印刷 : サングループ様

※無断転載・オークション・フリマアプリへの出品禁止※

マシマロ



一言あるとかわいいです